



ボタニカルニュース ～牧野公園情報～

◆あけましておめでとう
ございます！

本年もボタニカルニュース・まちまるごと植物園、並びに牧野公園をよろしく願います！
さて、牧野博士がこよなく愛した「バイカオウレン」の季節になりました!! 牧野公園手前の金峰神社（博士が幼少期によく遊んでいたところ）でも見る事ができます。これからフクジュソウやユキワリイチゲなど、早春のお花も次々と咲きます。花期の短いものもありますので、お見逃しなく！

◇1月に見頃の花♪

バイカオウレン（梅花黄連）

キンポウゲ科オウレン属の常緑多年草。1cm程度の小さな花。花びらのような白い部分はガクが変化したものであり、本当の花びら（花弁）は内側の小さな黄色い部分。ピーク時の一面真っ白な景色は見事♪見頃は1月～3月。



集めた落ち葉は堆肥になります。



大きい竹ぼうきで頑張りました♪

◆佐川小4年生、来園

11月12日、11月18日に、佐川小学校4年生が授業で公園を訪れてくれました。今咲いている植物を調べたり、はなもりC-LOVEと一緒に落ち葉掃除をしたりしました。大きなごみ箱があつという間にいっぱいになるくらい、一生懸命協力してくださいました。ありがとうございます！他の季節にもたくさんのお花が咲いています。また来て下さいね♪



まちまるごと植物園 ～まちの植物情報～

machimarugoto syokubutsuen

◆加茂地区の花街道♪

山茶花、寒椿、水仙、花桃、桜、紫陽花など、日下川の川沿いには約700mに渡って、一年を通してたくさん種類の花が咲いています。このお世話をしているのは「加茂夢の里づくり隊」のみなさんです。

活動のきっかけは約20年前。現会長の岩本正さんが山本茂光さんに「葦（よし）で川が分らないくらい荒れているのでどうかしたい」と相談したところ、山本さんが重機を使って整備に協力してくれました。その後、たくさんのお花が見られるように岸に菜の花や向日葵を植えたり、散歩に訪れる人たちの憩いの場となるように東屋やベンチを自作したりした結果、現在の美しい姿になりました。



取材時は、コスモスやサザンカの花が見頃でした。



草刈りなどの定期作業日は毎月第2日曜日で、高齢化などで減ってしまいましたが、現在は10人程度が参加しています。かつて80人くらいが参加していた頃は、コスモスフェスタなどのイベントを行ったこともあるそうです。草刈り場所はエリアが広く、場所によっては、川に入っ根っこから除去する必要もあるそうですが、植物や景観を大切にしたいという想いが、活動の原動力につながっているそうです。

そんな想いの詰まった日下川沿いは、土佐加茂駅から歩いていくことができる場所にありま。ぜひ、四季ごとに魅せる様々な姿を見に訪れてみてはいかがでしょうか♪

青山文庫だより

新しい展示がはじまりました

12月19日（土）から冬の企画展「志士たちの遺墨」がはじまりました。

幕末維新期の博物館として知られる青山文庫では、年4回展示替を行っており、今回の企画展は「志士たちの遺墨」のコレクション展になります。

このコレクションの収集をライフワークとした田中光顕^{みつあき}についての紹介からはじまり、「土佐の志士たち」、「諸国の志士たち」、「朝廷・幕府」と、大まかに分類して展示しています。順番に見ていただければ、田中が残そうとしたものを実感していただけるのではないでしょうか。

佐川の方にとって青山文庫は、昔から存在する古い博物館で、当たり前過ぎるのかもしれませんが、これほどのコレクションが一度に見られる事自体が大変貴重です。ぜひ見に来て下さい。

併せて、小展示「江戸時代の佐川」と小展示「佐川ゆかりの人びと」を開催してい



○特別展図録「志士最後の生き証人 田中光顕」を1冊800円で販売しています。

へお知らせ▼

○小展示「江戸時代のお雛さま」
2月2日（火）～3月7日（日）

○冬の企画展「志士たちの遺墨」
開催中～3月7日（日）

へ展示案内▼

ますが、2月2日（火）からは、一部展示替を行い、小展示「江戸時代のお雛さま」を開催する予定です。

（青山文庫 藤田有紀）

文芸

川柳

新鮮な 春の大地で 深呼吸
古里の 姥から届く 柿のれん
七草の やつと見つけた 仏の座

和田 憲一

俳句

淡き日々 映画の余韻 まだ続く
冬初め しめ縄新た 宮の樟^{かしわ}
味元 佐知子

東 聖（ペンネーム）

短歌

時に入り 時を忘れて 時とともに
生きてありけり 時に愛でられ
東 聖（ペンネーム）

東 聖（ペンネーム）

若き日に君住む町のパンを買い
ペダル踏みつつ帰る夕暮れの街
ストラックスのベルト緩めて寿ラーメン
締めはケーキセツトでベルト穴遠く
福寿草（ペンネーム）

福寿草（ペンネーム）

川柳・俳句・短歌を広報さかわに掲載してみませんか？

※3月号への掲載を希望される方は2月1日（月）まで

投稿方法：氏名・住所・電話番号と、川柳・俳句・短歌のいずれの部門かをご記入のうえ封書やはがき、ファックスにてお送りください。応募多数の場合は抽選により掲載します。